

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成24年11月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発 行 日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(送料共)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

診療情報は「宝の山」

村中 光

独立行政法人国立病院機構 九州医療センター 院長
福岡会場 基礎課程(臨床医学各論Ⅱ) 講師

診療録は診療に関する経過を記録したものであり、診療情報とは診療に関する諸記録、検査所見、画像情報、手術所見、看護記録など診療の過程で知りえた患者に関するすべての事象の記録である。

したがってその記録は正確であらねばならないのはいうまでもないが、一つ一つが、医学の発達や様々な検証にとって唯一無二の貴重な記録でありいわば宝の山である。ただ活用されなければ、ごみの山と化す。

このような観点から診療情報管理の専門職として診療情報管理士が導入されてきたが、2000年4月の診療報酬改正で診療録管理体制加算が新設され、その管理体制への評価がなされたのを契機として全国の病院で診療録管理の重要性が認識されたことと相まって、診療情報管理士ががぜん注目されるようになった。

診療情報管理士は当初診療録管理士という名称であったが、1996年から診療情報全体を管理するという意味をこめていまの診療情報管理士に変更された。診療情報管理士の主な業務内容は診療録の物理的内容の精査ならびに監査を行う「物の管理」、診療情報をコーディングしデータベース構築をする「情報管理」、構築されたデータベースから必要な情報を抽出、加工、分析する「情報活用」がある。

現状では施設によりその質にばらつきがあるうえ、また前二項の業務に終始し、情報の活用といった部分まで踏み込むにいたっていない。情報の活用業務は今後ますます重要性を増すのは確実であり、そのための研修システムの充実が不可欠である。

加えていまだ不十分であるキャリアパスが一日もはやく確立され、医療の質を担保する真のプロ集団として安定して活躍できる体制整備が、日本の医療の今後にとって急務であると考えられる。

